

第 28 回 熊野灘の漁業を考える

「水産業における ICT 活用の現状と課題」

日 時：2019 年 2 月 16 日（土）13:00～17:00（受付 12:30～）

場 所：三重県漁連のり流通センター3 階会議室（松阪市中央町 465-1）

共 催：一般社団法人水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，三重県水産研究所

後 援：三重県漁業協同組合連合会

コンビナー：伊藤宣毅（考える会），山川 卓（東大院農），津本欣吾，宮本敦史（三重水研）

【プログラム】

1. 挨拶：大関芳沖（一般社団法人水産海洋学会長） 13：00～13：10
伊藤宣毅（考える会代表）
2. 趣旨説明：遠藤晃平（三重水研） 13：10～13：20
3. 話題提供
座長：松田浩一（三重水研），水口忠久（考える会）
 - (1) 水産業における ICT 活用の先行事例
～三重県における衛星リモートセンシング技術の活用～ 13：20～13：50
久野正博（三重水研）
 - (2) 鳥羽商船高等専門学校における取組 江崎修央（鳥羽商船高専） 13：50～14：40
 - ① ドローンと水中カメラによるアカモクの資源管理 齋藤勇馬（鳥羽商船高専）
 - ② スマートフォンを用いた海苔養殖の画像閲覧 尾崎瑠海（鳥羽商船高専）
 - ③ 人工知能を用いた海面養殖向けの自動給餌 河口 祭（鳥羽商船高専）
 - (3) 魚類養殖における飼育管理への ICT 活用事例 14：40～15：05
橋本 純（三重外湾漁協）

(休 憩) 15：05～15：20

座長：藤田弘一（尾鷲水産室），平山 厚（考える会）

 - (4) 水質データと漁獲量データを組み合わせた機械学習による漁獲量推定 15：20～15：50
鈴木翔太・多部田 茂（東大院新領域）
 - (5) 三重県水産業における ICT 導入の検討 15：50～16：15
笹木大地（三重水研）
4. 総合討論
座長：山川 卓（東大院農），津本欣吾（三重水研） 16：15～17：00

開催趣旨：近年の ICT や IoT 等情報伝達技術の発達は目覚ましく，水産分野でも同技術の活用が期待されている。このような中，国は 2017 年 4 月に閣議決定した水産基本計画において，「ICT などの新技術を活用し，漁船の運行や操業の省エネ化，省力化，低コスト化，効率化などの研究開発を行う」とし，ICT 等情報伝達技術をフルに活用した「スマート水産業」の推進を施策の重要な柱のひとつに位置付け，2019 年度に向けた重点的な予算要求がなされている。一方，中小経営体の多い三重県の漁業現場では，依然として熟練者の経験や勘に頼った操業や作業，過酷な労働が多く，これが新規就業等の障壁となっている。このため，県内漁業者が容易に導入でき，操業や作業の省力化，効率化等に役立つ技術の開発が必要となっている。本研究集会では，県内で実施されている取組や研究事例を共有し，水産業における ICT 活用の現状と導入・普及に係る課題を抽出整理し，漁業者，行政担当者，研究者等の関係者間で今後取り組むべき方向性を検討する。